

基礎日本語 A		講義	非常勤講師 深谷 秀樹	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22100101	

1. 授業のねらい・概要

日本で学び、生活する留学生にとって、日本語の能力はひじょうに重要である。本授業では、日本での学生生活を円滑に進めるため、正確な日本語を使いこなせるようになることをめざす。前期のAでは、日本語の文字・表記および漢字・語句について学ぶ。また、日本の文学・文化に触れる時間（DVD鑑賞など）も設ける。

2. 授業の進め方

問題演習を中心に進める。理解度を確認するため、適宜指名して解答を求める。各回の授業内容は下記の授業計画によるが、学生の理解度や希望によって一部変更する場合もある。

3. 授業計画

1. オリエンテーション	9. 漢字の読み—読みが複数あるもの
2. 日本の文学作品に触れる	10. 類義語—基礎
3. 文字と表記—ひらがな・カタカナ	11. 類義語—応用
4. 文字と表記—漢字・ローマ字	12. 対義語—基礎
5. 同じ部分をもつ漢字	13. 対義語—応用
6. 見た目が似ている漢字	14. 日本語と日本文化
7. 漢字の読み—動詞	15. まとめ
8. 漢字の読み—名詞・形容詞	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・日本語のテレビやビデオ等を視聴し日本語に親しむ。漢字の読み書きを練習する（60分）。
- ・授業で配布したプリントの内容を読み返し、わからない部分があれば確認する（60分）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際に出題意図や解答のポイントを解説する。

6. 授業における学修の到達目標

日本での学生生活を円滑に進められるよう、日本語の基礎的な知識を身につける。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験の点数（90％）に提出物と授業への参加状況（10％）を加味して評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは使用せず、プリントを配布する。参考文献は必要に応じて授業の中で紹介する。

9. 受講上の留意事項

- ・毎時間の学習の積み重ねを重視するので、欠席・遅刻をせず、真剣かつ積極的に取り組むこと。
- ・日本語の辞典を持参すること。電子辞書でもよい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。